

# 新人発表会を終えて

日時: 令和5年4月2日(日)  
場所: 都市センターホテル  
座長: 福西先生、発表者: 佐藤 暢亮先生



佐藤 暢亮  
(東京都)



福西 雅史  
(神奈川県)



初めまして、都内で勤務医をしております佐藤 暢亮と申します。日本大学歯周病学講座に8年間在籍し、大学院卒業・歯周病専門医取得後、現在は複数の病院で勤務しており、休日はトライアスロンや自転車の実業団レースに参戦しています。大学病院勤務時からインプラント治療を行ってはいましたが、基礎からしっかりと学びなおしたいと思い、日本インプラント臨床研究会の門戸を叩きました。

約8カ月の講習では、著名な先生方の講演・実習を受けることができ、また専門医取得までの道のりも丁寧に教えて頂け非常に充実した時間でした。この会を通して多くの素晴らしい先生方との繋がりを得られ、質の高い医療に触れる機会が増え、より頑張らねばと身の引き締まる思いです。

新人発表研修会では、同期の先生方の発表が多岐に渡る内容で、治療計画の考え方や診断基準、スライドのまとめ方等非常に勉強になり吸収する事が多かったです。ベテランの先生方の鋭い指摘やアドバイスが、今後の臨床の道しるべとなり、悩みの多い日常臨床がクリアになっていくの感じました。まだまだ、知識も技術も未熟なため、今後もご指導ご鞭撻いただければ幸いです。最後に、今回貴重な発表する機会を与えて頂き、そして運営をして下さった先生方に厚く御礼申し上げます。

佐藤暢亮

## 日本口腔インプラント学会専門医よりアドバイス

令和5年4月2日、今年も恒例の新人発表会が終了しました。私は、毎年、この日を楽しみにしています。まだ初々しい、新人の先生たちの、やる気の入った、大変素晴らしい発表を聴講させて頂き、大変な刺激になっています。今年は、28名の先生が発表されました。初めてのインプラント症例の先生から、経験の多い先生まで、色々な発表でした。近年は、CTシミュレーション・サージカルガイドを用いて、インプラントの術式もシステム化され、初心者の先生も、全く問題なく、安心安全なインプラント治療を行うことが可能になり、大変素晴らしいと思います。その中で、以下の先生がエビデンスに基づいた、素晴らしい発表を行い、優秀賞を受賞されました。

「クリアランスが不足している大白歯部欠損に対して矯正治療とインプラント治療を行った1症例」

佐藤 暢亮先生

「骨粗鬆症患者に対しインプラント治療を行った1症例」

高坂 一貴先生

特別講演会も開催されて、専門医委員会の佐久間栄先生より、「日本口腔インプラント学会 専門医への近道」と題して、資料採取から症例選択など、大変熱意のある御指導を頂きました。また、お忙しい中、座長を務めて下さった先生方、専門医委員会の先生方にも、ご協力頂き、大変ありがとうございました。

## 新人発表会



さて、今回、夏の熱海での全員発表研修会も終わり、この文章を書いていることもあり、この数年はコロナ禍でCISJのイベントや活動なども縮小せざるを得なかった面からも、私個人の意見として、CISJの先輩として、僭越ながら、入会してまだ年数が浅い先生に、アドバイスさせていただきます。

### ① CISJの研修会、特に全員発表研修会には積極的に参加しましょう

高額な受講料と年会費を支払いながら、CISJでの学びの機会を活用しないのは、大変勿体ないです。可能なら、委員会に所属して、先輩の先生方と仲良くなり、教えてもらいながら、一緒に勉強しましょう。特に、全員発表研修会は、自分の症例をまとめて、振り返り、発表して、指導を頂く、大きな好機です。参加しないのは勿体ないですし、どんどんCISJに参加しづらくなり、専門医への道も遠くなってしまいます。毎年1度の機会に、自分の持つ技術・知識の全てを、ここに賭けてみませんか？その積み重ねが、経験となり、自信となります。特に経験の浅い先生も、恥ずかしがらずに、積極的に参加して、勉強しましょう。

### ② CISJの一員としてプライドと自覚を持ちましょう

自分のメインの勉強会や学会は他にある先生もい

らっしゃるかも知れませんが、一緒にCISJで勉強している仲間なので、自分の技術や知識を、包み隠さずに、CISJでオープンに発表しましょう。CISJのみんなが、自分の得意分野を持ち寄り、一緒に勉強して向上したいですね。CISJでは特にインプラントメーカーも術式の縛りなどもないので、多くの考え・技術を結集して、みんなで、CISJを盛り上げていきましょう。

### ③インプラント治療は責任を持って取り組みましょう

当たり前かも知れませんが、私はインプラント治療を行う患者さんは、私が歯科医師である限り、一生、フォローして責任を持つ覚悟で、行わせて頂いています。インプラント治療には、それだけの責任があると思います。そのために、毎日、毎年、より良いインプラント治療を行うことができるように、勉強を継続していく義務があると思います。これからも、安心安全なインプラント治療を目指して、一緒に勉強しましょう。

次回、研修会や、特に来年のインプラントサミットで、お互いに勉強して向上できることを楽しみにしています!!

福西 雅史